

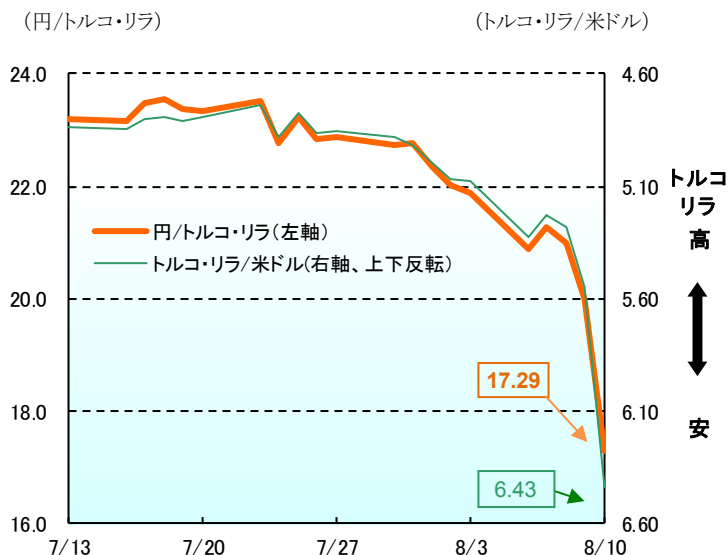
### 【2018年8月4日～2018年8月10日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに大きく下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

米国によるトルコの閣僚2人（ギユル法務大臣とソイル内務大臣）に対する制裁発動を受けて、週初にトルコ当局の代表団が訪米しましたが、事態を打開できませんでした。10日（現地、以下同様）には、トルコ・リラが軟調に推移していたところに、トランプ大統領がトルコに対するアルミ・鉄鋼の関税を2倍に引き上げると表明したことが追い討ちをかけ、エルドアン大統領が通貨安に対して有効な対策を打ち出さなかったこともあり、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに史上最安値を更新しました。国債も売られ、金利は上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年7月13日～2018年8月10日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

エルドアン大統領の娘婿であるアルバイラク財務相は10日に、市場の懸念緩和に向けた行動計画を策定したことを明らかにし、13日から実行すると表明したものの、市場の懸念を払拭できるか不明です。エルドアン大統領は12日の演説で、なおも政策金利の引き上げに否定的な考えを示し、「政治的陰謀」「降伏はしない」といった国家主義的で強気な発言を繰り返しました。国民に向けては、保有するドルや金をリラに両替するよう訴えました。エルドアン大統領はIMF（国際通貨基金）に支援を仰ぐ選択肢についても否定的な姿勢を示しており、トルコ市場は予断を許さない状況が続きます。

【トルコ 金利推移】（2018年7月13日～2018年8月10日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>